あすぷろ「アップルゲート断熱」応援隊

【寒くないアップゲー、

暑くないアップゲー】

住み心地にもっとも影響するのは、夏涼しく、冬暖かい　ということです。

特に日本の夏は蒸し暑く、冬は冬で寒さがたまらないですね。夏涼しく、冬暖かい、それだけで、人はずっと家の中で過ごしたくなります。

アップルゲート断熱の家はとても住み心地のいい家といえます。

エアコンは１階に１台、２階に１台。しかも入れっぱなしでよいので、楽ちんです。かつ電気代も安くなるということで、申し分ないですね。アメリカでは電気代の４０％削減保証をしています。

こうした住み心地にとって一番大事なのは、断熱性です。具体的には断熱材と窓です。

断熱材の効果を高めるのは、基本的には厚みですが、均等に厚くなっていることが大事で、施工の際に隙間があったり、薄くなっているところがあると、公表されている数値と全く異なってしまいます。アップルゲートは隙間なく、厚みを調整できる断熱材です。

また、壁裏・天井裏・床下は配管・配線などその他様々な物が混在しています。従来の断熱材では、シートを切り貼りしていくため隙間が出来てしまいますが、アップルゲートはこれらの隙間を完全に埋める事に成功しました。

年数とともに、断熱材が重みで下に下がってしまうと、効果は激減しますが、アップルゲートは断熱吹き付け工法で、セルロースの繊維が絡み合い、自立し、自重沈下しない断熱材です。

断熱材によっては、温度によって断熱効果に大きな違いがある場合もあるので、注意が必要です（グラスファイバーは外気温が下がるにつれて抵抗が小さくなり、空気が侵入しやすくなります）。

窓も重要です。結露している窓を見たことがあると思いますが、結露しているようでは失格です。シングルサッシより二重サッシの方がよく、二重サッシより三重サッシの方が断熱性が高くなります。アルミサッシはどうしてもアルミ部分が断熱効果の妨げになります。樹脂サッシや木製サッシの方が断熱性が高いのです。

サッシの枠の部分がどうなっているのかも、要チェックです。